

## 1996年三田会の皆様

この度は1996年三田会記念大学奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。家計が急変し、先が見えない不安のなか支援してくださることは大変心強く思います。

昨年、中国で暮らしていた祖父が亡くなったのを機に父は休職し、現在も日本を離れています。当初は1年ほどで日本に帰る予定でしたが、コロナ渦での規制が厳しく、なかなか事が進まないため、いつ日本に帰れるのかわからない状況が続いています。母はアルバイトをしていますが、収入が十分ではありません。そのため、生活費や学費のほとんどは今ある貯金で払っています。私が学びたいことを受け入れ、行きたい大学に通わせてくれている両親にはとても感謝しています。そのため、学業に専念したいという思いだけでなく、少しでも両親の経済的負担を減らしたいという思いもあり、奨学金を志望しました。

私は高校生の時から化学を学ぶことが好きで、大学ではさらに専門的なことを学びたいと思っていました。そして、薬の専門家であり、患者の治療に携わることができる薬剤師という職業に魅力を感じ、私も自分の経験や知識を活かして誰かのために働きたいと思うようになりました。大学に入ってから、生物系の授業にも興味を持つようになり、多くのことを学んでいます。また、2年生になってからは、講義と実習で大変な日々が続いていますが、同じ目標に向かう仲間たちと同じ空間で学ぶことができ、実習も実際の経験を通して得られるものが大きいため、恵まれた環境のなかでたくさんの刺激を受けながら日々学ぶことができている喜びを実感しています。

今後も、薬剤師になる夢を応援してくれる両親と1996年三田会の皆様からのご支援への感謝の気持ちを忘れず、さらなる高みを目指して前向きに努力してまいります。改めて、1996年三田会記念大学奨学金に採用して下さった皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

# 1996 年三田会記念大学奨学金の皆様

経済学部経済学科 3 年

この度は 1996 年三田会記念大学奨学金に採用していただき、ありがとうございます。  
います。

現在、私は公認会計士の勉強に励んでいますが、就職活動の時期と重なり、今学期から大学の授業も 9 割対面で行われるようになったため、以前のように勉強時間がとれなくなりました。勉強時間を確保するために、アルバイトを辞めたので、今回こうして奨学金をいただくことができ、とても助けになります。これからは今まで以上に、学業や就職活動に専念することができるようになると思うと嬉しい限りです。

将来の目標や進路はまだ決まっていますが、これからインターンなどの就職活動を通じて、自分の目指す道を見つけていきたいと考えています。やりたいことが決まった時に、自分の力不足でそれを諦めなければならないということがないように、勉強を頑張りたいと思います。

支援していただいたからには、期待に応え、また慶應義塾大学の塾生として一層努力してまいります。これから学業、就職活動に専念できるのは支援していただいているすべての方々のおかげです。最後に改めて心から感謝申し上げます。

拝啓

1996年三田会の皆様、奨学金のご支援をいただきまして誠に感謝しております。私は学費と生活費を全て自分で賄わなければならないため、支援をいただきたいと考へておりました。現在私は法学部生ということで、法律を深く学んでいる最中でございます。法律学は私たちの生活に密着した学問であるため、深く学ぶことでより豊かな人生が送れると考へます。また将来の展望として、法曹は社会的なため、非常に狭い道ではございますが、法律学の専門性をしっかりと身につけていきます。ですが、私には広い視野で様々なことにも興味を持ってみたいという考へがあります。

例えば私の兄は子どもの貧困解決に向けた学生団体を立ち上げたのですが、そこで私も色々学ばせていただいております。興味深いこともたくさん学ぶことができます。慶應義塾大学の理念の一つである「貧品の泉源」のもと、私は単に社会人として過ごすのではなく、人格を備えた社会の指導者であるべきと考へています。それは私の解釈では、慶應義塾大学で学んだ有識者として、決して慢心したり利己的になるのではなく、周りに目を向け自分より弱き手を差し伸べることだと考へています。また「社中協力」の精神のもと私がかいたいた支援を将来の学生たちに

返すことが出来れば良いと考へています。

最後になりましたが、ご支援くださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

敬具

1996年三田会の皆様

この度、1996年三田会記念大学奨学金を受給させていただくことになりました。心より感謝申し上げます。

私が本奨学金に志望した理由は家計の負担を減らしたいと考えたためです。コロナ禍で母が失職し、その後父の収入が減少しました。また、自身でアルバイトをする時間の確保が難しくなったことも志望した理由と関係しています。以前から私は家計の負担を多少なり軽減できればと考えてアルバイトをしていました。しかし、学部4年生になりこれまで以上に多くの時間を研究とそのための勉強に費やす必要が出てきたことで、昨年まで行っていたアルバイトを継続する時間的余裕がなくなりました。学費はかろうじて教育ローンで工面してもらっているものの、生活費などの不安があります。本奨学金を受けられれば、すでに学費などのために借り入れているお金の返済も含め、家計の負担を減らせるだろうと考えました。

現在は、植物の葉緑体に関する研究を進め、葉緑体が今のような進化を遂げた理由の解明に注力しています。葉緑体では光をエネルギー源として取り込んだ空気中の二酸化炭素を糖などの栄養に変える光合成が行われます。この反応において光を吸収する二種類のタンパク質の配置に私は関心を抱いています。これらは葉緑体の中で不均一に分布することがわかっているものの、その理由は未だに定かではありません。この不均一な分布について、葉緑体が進化する中でその配置が保存されたのは、当時の環境を生きるのに何らかの点で都合が良かったからではないかと私は考えています。葉緑体が進化の過程で当時の環境に適応してきたことで現状のような配置になったと仮定したとき、適応した結果である今の配置と淘汰された過去に存在したかもしれない配置を比較できれば、今の配置が何に都合が良いのかわかると考えています。その知見を基に葉緑体が今のような進化を遂げた理由を考察したいです。また、この研究を実現するため、植物生理学や分子生物学、数値計算などの勉強を進めています。

自分の知的好奇心のままに勉強・研究することが学術的貢献になるならばこれほど誇らしいことはないです。そして、本奨学金を受給させていただけるおかげで、心置きなく知的好奇心のままに勉強と研究ができることを大変嬉しく思います。

改めて、奨学金を頂きまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

環境情報学部4年

一九九六年三田会の皆様

拝啓 このたびは、一九九六年三田会記念大学奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。

私は、地方から上京してきましたが、実家に経済的余裕がなく、こちらの奨学金に応募しました。

ゼミでは、イマヌエル・カントの『実践理性批判』をドイツ語と英語で講読し、カントの義務論について理解を深めています。また、カントのような規範倫理学では捉え切れない倫理的な問題について、新たな倫理学の立場から語る可能性を考えております。

また、勉学と並行して課外活動にも精力的に取り組んでおります。私の所屬する公認学生団体楽友会という混声合唱団は、総勢百名を擁する大規模な学生団体なのですが、こちらで幹部として団体運営を主導しています。

このような大学生活を送れているのは、一九九六年三田会

の皆様へのご支援のおかげです。これからも、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、勉学や課外活動に励んで参ります。このご恩は一生忘れません。また、学業の継続のためにこのような形でご支援いただいたという経験から、将来、自分のように学業の継続が困難な学生をサポート出来る大人になりたいという思いが強まりました。

奨学金は、全て学費に使用させていただきます。勉学に対してよりいっそう身が引き締まると思います。卒業まで何事にも全力で取り組んで参ります。このたびは、本当にありがとうございました。

敬具

令和四年七月十四日

文学部倫理学専攻三年

2022年7月19日

1996年三田会の皆様

まず、この度は1996年三田会記念大学奨学生に選んでいただき、誠に光栄に思っております。1996年三田会の皆様と1996年三田会を支援して下さっている皆様に対し、給付型の奨学金を頂けることに心から感謝しています。この奨学金を給付して頂くことによって経済面における不安が軽減し、学業や課外活動に精一杯取り組むことが出来ます。

また、今回1996年三田会記念大学奨学生に選んで頂いた以上、授業やサークル活動などの学生生活をあやふやな目的で取り組むのではなく、積極的に学生生活の意義を見出して行動しなければいけないと考えております。また、皆様が支援して下さっているお陰で今私は慶應義塾大学に通学することが出来ているので、この御恩を忘れずに将来的には自分が次の世代を支援する立場になりたいと思っております。

私は高校時代より環境破壊における課題や原因を探索することに興味関心があり、将来的には環境政策を打ち出す立場に立ちたいと考えています。2年間の大学での学びを経て、環境問題を解決するアプローチ方法の一つとして、戦略的な政策を作成することが市民の意識改革に大きく影響することを学びました。また、政策を施行することで事業利益を出すことの重要性も強く感じました。私は今まで環境問題「そのもの」についてマクロな視点でリサーチを行なって参りましたが、これらを実践的に活用し地域を巻き込んで行うことが出来なければ、持続的な社会を作るための問題を根本的に解決することは不可能だと実感しました。

そこで、私は地域特有の文化的背景や問題を知り、変化し続ける生活様式に落とし込んだ創生戦略作りを行うことで、効果的な変革をもたらすことが出来ると推測しています。現在、効果的な戦略作りを本格的に学ぶために、公共政策学者である上山信一教授の研究会に所属し、日々勉学に励んでいます。また、この度2年間目指していた「長期留学に行く」という目標を達成し、今年の9月より交換留学生としてカリフォルニア大学にて、公共政策学と環境学を学びます。日本よりも環境問題に対してアプローチが進んでいる国に実際に住むことで、現地の人達がどのように環境に配慮した生活を送っているか、肌で感じたいと考えております。現地で学んだことをしっかり持ち帰ることができるよう、留学先でも一生懸命頑張りたいと思います。

慶應義塾には志が高い人が多く、いつも良い刺激を与えてもらっています。学生生活で得た繋がりを大切に、希望ある将来に向けてこれからも頑張っていきたいです。

環境情報学部 環境情報学科 3年

1996年三田会の皆様

拝啓 猛暑の候 いかがお過ごしでしょうか。

さて、この度は、1996年三田会奨学金を賜りまして、心より感謝申し上げます。

私が奨学金を志望致しました動機は、助産師資格取得のための卒業後の進学を諦めたくばかたからでございます。在学中に1年半休学をしていることもあり、いち早く助産師として現場に出たいという思いから、卒業後の進学を決意致しました。一方で、家庭の状況は厳しく父親の癌進行に伴う収入の減少、それに伴う母親の負担増加に伴い、私自身もアルバイトを増やしてまいりました。しかしながら、コロナ禍での実習においては、実習2週間前からの対面アルバイト禁止の規則があり、思いうる収入が得られないのが現状です。その分、実習に該当しない期間に多くシフトに入るなどして調整してまいりましたが、所属学部以外の講義の受講もあり、心身ともに疲弊し、受験勉強に集中し、十分な時間を割くことが難しい状況にございました。助産師資格取得のためには、受験費や入学金、授業料など多額の資金が必要です。卒業後の進学に関する費用は、自力で全て賄いたいという気持ちから、奨学金をいただくことでアルバイト時間を減らし、受験勉強に集中して取り組みたいと思い、奨学金を志望した次第でございます。

近況と致しましては、今学期は三田キャンパスにて、英語とフランス語の講義を受講しており、学部の勉強、受験勉強と並行して言語の勉強にも積極的に取り組んでおります。将来は、アフリカ諸国にて、助産師として活躍することを目指し、大学在学中にフランス語の習得を目指しております。英語は、より実践的な場で用いるスキルを身につけるために、プレゼンテーションの講義に積極的に取り組んでおります。また、医療英語にも興味を持ち、



医療や看護に関する動画やプレゼンテーションなどを通して、学びを深めております。

秋学期も引き続き、他学部の講義を積極的に受講したいと考えております。最初の入学試験は9月の中旬にごございます。合格を目指し、引き続き勉強に取り組んでまいります。

末筆ながら、1996年三田会の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

令和4年7月18日

看護医療学部 4年

1996年三田会の皆様

総合政策学部4年の                    といいます。この度は奨学生として採用していただきありがとうございます。地元から離れて生活しているのですが、大学へは貸与の奨学金とアルバイト代で通っており勉強とバイトの両立が難しく、この度1996年三田会の皆様に支援していただくことになりとても感謝しています。その分多くのことに挑戦できます。

私自身大学では第二外国語教育や多文化共生に興味を持ち、四年生の春学期が終わろうとしている現在は卒業論文執筆に向けて取り組んでいることです。卒業論文では「日本の大学における第二外国語教育について」というテーマを設定し、現在英語だけが重視されている日本の外国語教育のあり方や、コミュニケーションではなくテスト重視で学生が外国語学習に苦手意識を持つ原因になっていることなどに問題を感じ、解決策はないのか、他国ではどのように取り組まれているのか研究しています。また、大学生活の中でひとつでも多くの言語に触れたいという目標があるため、第二外国語を四年生になって新たに中国語をはじめました。大学生最後となる学期も中国語を続けつつ、なにか新しい言語を学びたいと考えています。奨学金の支援を頂き、最後の学期まで有意義に過ごせることに感謝しつつ勉学に励みたいと思います。

1996年三田会の皆様

拝啓

慶應義塾大学総合政策学部4年の〇〇〇と申します、この度は、奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。私の大学生生活のほとんどが新型コロナウイルスに影響され、やっとの思いで慶應の交換留学生としてシンガポールのシンガポールマネジメント大学へ行って参ります。私の父親が今年の11月を持って定年退職することが決まっております、来年から家庭の主な収入源がなくなると言う状況が始まり、父親だけの年収だけでは、学費を支払った後、家庭の生活費などを支払うのに精一杯です。私は現在4年生でありながら、今年の8月から交換留学へ1年間行くことが決まっているため、来年度分としてもう1年分の学費やシンガポールでの高額な家賃と生活費があり、金銭的に非常に厳しい状況の中、こちらの留学や学費は1996年三田会の皆様からの奨学金のご支援があり、自分が成し遂げたいことに専念することが出来ています。

現在、勉学の面で、私はデータサイエンスとプログラミングを中心に勉強しております。私は今、古谷知之教授の「データサイエンスと社会」という研究室で、eSports後進国である日本のeSports界を盛り上げるために大会や生配信のコメント欄の時系列データやテキストを自然言語処理技術など活用して、ゲームの盛り上がり度などの様々な指標を予測し、広告の配信のタイミングなどの最適なマーケティング施策を研究しています。現在はデータ収集であったり、簡単な分析などを試したりと、色々試験段階中です。学業以外の課外活動の面では、自分が特に力を入れているものは私が1年ほど前からGeekSalonという大学生限定のプログラミングコミュニティでメンターという役割を担い、大学生にプログラミングを教えていることです。ここでの主な仕事としては、受講生にプログラミングを用いて、自分達のプロダクトを開発して、成功体験を提供してあげることです。その他には、組織運営の観点から、コミュニティ外の人にGeekSalonの魅力伝えるマーケティング、受講生に最高で充実した時間を経験させてあげるコンテンツ、組織運営とプログラミング指導に貢献してくれる大学生の採用と育成を行う人事という3つの領域で活躍しています。メンターは基本的に常にこの3つの領域で仕事をしており、その中で、責任領域としては、私マーケティング長と人事長として務めさせて頂いております。

今年度は、指定寄付奨学金授与証交付式および懇談会の時に私は留学へ行っているため、直接1996年三田会の方々にお会いすることが不可能になってしまい、誠に残念ではありますが、私としては慶應の諸先輩との関わりを持ちたいと強い思いがあります。従って、もし差し支えなければ、留学後に是非留学での報告など出来たらと考えております。改めて、奨学金のご支援を下さった1996年三田会の全ての方々にご心よりお礼申し上げます。

敬具

2022年07月19日 慶應義塾大学 総合政策学部4年

# お礼状

1996年三田会の皆様

拝啓 このたびは1996年三田会記念大学奨学金の奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。比自様の支援を決して無駄にしないよう勉学に励みます。私の実家は大阪にあり父の収入を前程として慶應に通うことを決めましたが、入学5ヶ月後に父が病死しました。母のパート収入では支出を賄えず、実家を離れて往々私が家計の大きな負担となっております。自らの生活費を稼ぐために夜勤をしておりますが、3年生以降は勉学が忙しくなり思うように働くことができなくなり、4年生になってからは就活でさらに忙しくなり仕事を休んでおります。そのような中で奨学金をいただけたことは経済的にも精神的にも大きな支えとなりました。現在の私の状況ですが6月末に内定をいただき

就活を終えることができませんでした。残された4年生後期は経済学に限らず自らが興味のある分野に取り組みたいです。日本史の古文書学に興味があるので大学の環境を最大限利用して思い残すことがないように勉強しようとおもいます。

最後になりましたが、1996年三田会の皆様には深くお礼を申し上げます。皆様のご支援のおかげで学生生活をおくれることへの感謝を忘れることなく、ご支援に忘れることなく勉学に励みます。社会人となり安定的な収入を得られるようになりましたら、今度は私が三田会奨学金を支援する立場となり今まで受けた恩を返します。

敬具

令和四年 七月十四日

経済学部 4年

## 1996年三田会の皆様へのお礼状

総合政策学部2年

1996年三田会の皆様、この度は奨学金に採用していただき本当にありがとうございました。義塾の先輩方から直接のご支援をいただけることを光栄に思うと同時に、大きな期待を背負っているのだという責任を感じております。これまで以上に、一層気を引き締めて今後の学生生活に励みたいと考えております。

さて、この度奨学金を申請いたしましたのは、他でもない、新型コロナウイルスにより家計の状況が大きく変化したためです。実家は横浜で3代続く履物問屋を営んでおりますが、流通の合理化によりただでさえ問屋の売上は伸び悩むところへの大きな災害でした。影響の見えやすい小売店や飲食業と異なり、なかなか影響が表に出づらいう業種であり、自身もそれまでもらっていた小遣いがなくなったことなどから、影響を深刻に考え始めました。

それからは、勉学の合間を縫って個別指導塾の講師、飲食店、そして有給のインターンシップを掛け持ちし、生活費、交通費、授業で必要な物品の購入を賄っておりました。

しかし学部2年になり、改めて自分の興味分野である建築という学問の面白さに気づくと同時に、自らの足でさまざまな場所を巡ることが、知識、見聞を深めることにはいかに繋がるのかということをもって体感しました。

大学には、今までの学生生活と比べて長い休暇があります。いわば、春秋の学期だけでなく、夏と冬の長期休暇でさえ、使い方によっては更なる自分への投資の時間となると考えます。昨年はその長期休暇を、アルバイトの塾での夏期、冬期講習に返上し、自らの生活費を稼ぐことに徹しましたが、今後は、そうした時間も、今回いただいた奨学金によって有意義に自分の能力の向上のために使うことができると考えると、感謝の限りです。

現在学部は春学期を終えようとしていますが、今期履修したデザインスタジオAという住宅設計課題の課される講義においては、担当教員の坂茂先生より、SFC内の全ての建築関係の講義から推薦された設計課題を一堂に会し品評を行うスーパーレビューに選出していただきました。昨年履修したデザインスタジオ基礎においても、建築家の高池葉子氏に作品を認めていただき賞を得られたことから、2期連続でこうして自分の努力が認められるという経験をすることができました。また、この度奨学金に採用していただくことができたということも、自身の興味への熱意を後押しし、コロナという逆境に負けないためのお力添えをいただけたと感じております。これらのことは今後のモチベーションに大きく寄与しており、自分はどうすればさらに発展していけるか、考えることを止めることはありません。

改めてこの度は、1996年三田会の皆様による貴重な寄付金から奨学金をいただくことができたことを心より嬉しく思っております。この奨学金を必ずや今後の自身の成長につなげ、国内外で活躍のできる人材となるべく、今後の学生生活を大いに有意義に過ごしたいと存じます。この度は本当にありがとうございました。9月の授与式にて直接皆様とお話しできることを心待ちにしております。

総合政策学部2年

1996 年三田会の皆様

拝啓

慶應義塾大学理工学部 4 年生の \_\_\_\_\_ と申します。この度は奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は現在電気情報工学科の村田真悟先生の研究室に所属し、人の脳の仕組みを利用した AI の開発に取り組んでいます。近頃は能動推論という人の脳のモデルについて詳しく学び、現在の先行モデルの課題を解決し、より汎用的な AI を実現するために様々な技術を習得しています。

私がこのように慶應義塾で自分の興味を突き詰められる研究・勉学に励めるよう両親は学費の支弁を含めて、さまざまな支援をしてきてくれています。私はそのことにとても感謝すると共に、退職した父、収入の少ない母に負担をかけていることを日々申し訳なく感じていました。

私が 1996 年三田会記念大学奨学金を志望いたしましたのは、このような両親の負担を少しでも減らしたいと考えたからです。1996 年三田会の皆様からの奨学金のご支援をいただいたことで、両親の負担を減らすことができ、私は自身の研究・学業へ専念することができるようになりました。また、奨学金をいただいたことで無理せず学業とアルバイトを掛け持ちできるようになり、研究室や勤務先で良好な関係を築けております。1996 年三田会の皆様、誠に有難うございます。

私は人の脳の仕組みを利用した AI の開発に取り組んでいますが、私がこの研究テーマに携わっているのは人の脳の仕組み、とりわけ人が人と共感しあえる仕組みを解き明かしたいと考えたからです。村田先生の研究室では先生や先輩、同期とより良い AI のシステムにするための議論を交わすことができ、有意義な時間を過ごせています。

ご支援をいただいたことに恥じぬよう、真面目に学業・研究に励み、将来自らが世界を先導できる研究者となれるよう、努力を続けていきます。ご支援をくださった 1996 年三田会の皆様に心よりお礼申し上げます。

敬具

令和 4 年 7 月 吉日

慶應義塾大学理工学部 4 年

拜啓 日を追うごとに夏らしくなるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。

この度は、一九九六年三田会の奨学生に採用して頂き、誠に

ありがとうございます。私の両親は、私が幼い頃に離婚し、以後母が

一人が私を育ててくれました。決して経済的にゆとりがあるとは言えない

中で、教育が大事だという考えを持つ母は、総合大学であり幅広い

分野を学ぶことができる慶應義塾大学への進学を勧められました。

しかし、学費が高額であり、家計を圧迫している現状があります。今まで

私のことを一人が育ててくれた母の負担を少しでも軽くしたいと思い、

奨学金を志望しました。

現在、私は、看護医療学部在籍し、看護学を学んでおります。

病院実習では、患者さんを受け持たせて頂き、看護師さんから助言を

頂きながら、患者さんへのケアを計画・実施しました。私は、実習を

通して、患者さんの個性に合わせてケアを行うことや、患者さんの強み

を引き出す関わりをすることの大切さを学びました。また、看護師さんが、

日々のカンファレンスや、患者さんとのコミュニケーションを通して「患者さんの



思いを大切にされた看護士を実践されている沢々を拝見し、私もそのような看護士ができる看護士になりたいと思つた。来年の四月からは、病院で看護士として勤務する予定であり、現在は、二月に控えた看護士国家試験に向けて勉強に励んでおります。

最後になります。今回の採用につきまして重ねてお礼を申し上げますとともに、一九九六年三田会の皆様のご健勝とご多幸を心よりお礼申し上げます。

敬具

令和四年七月十九日

看護医療学部四年

一九九六年三田会の皆様

1996年三田会の皆様へ

お礼状

拝啓

この度は、1996年三田会記念大学奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。

私はグローバルな人材となり、世界の課題解決に貢献するといった目標があります。そのため大学院進学後に海外で研究を行うため、留学をしたいと考えています。現在は超音波を用いた細胞培養の効率化の研究を行っています。研究活動を通して、実験の進め方、論文の書き方、超音波、細胞に関する基礎知識を学んでいます。

今回の1996年三田会記念大学奨学金は、オンライン英会話、語学試験、パスポート取得などの留学準備費用に充てさせていただき、日々の勉学に邁進していきたいと思えます。

最後にご支援いただいている全ての方々に心から感謝申し上げます。今後も努力を積み重ね、自身の目標を達成できる人材に成長できるように精進いたします。

敬具

理工学部機械工学科4年

1996 年三田会の皆様

拝啓

盛夏の候、ますますご健勝のことと存じます。

私は、理工学部数理科学科 3 年の                      と申します。

この度は、奨学金のご支援を頂き誠にありがとうございました。

私の実家は茨城県の沿岸部にあるため、学費に加えて 1 人暮らしの費用がかかります。

また、妹 2 人にも学費がかかるため、少しでも経済面での不安を和らげたいとの思いで奨学金に応募しました。

奨学金のご支援のおかげで、今後専攻したいと考えている統計学の学習に、より一層集中できるようになりました。

ご支援に恥じぬよう、今後の大学生活を過ごしていきたいと思えます。

最後になりましたが、ご支援を頂いた 1996 年三田会の皆様に心よりお礼申し上げます。

敬具

令和 4 年 7 月 14 日

理工学部 数理科学科 3 年

令和4年7月14日

1996年三田会の皆様

拝啓

盛夏の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は1996年三田会記念大学奨学金のご支援をいただけることになりまして、誠にありがとうございますとさせていただきます。

私が奨学金を志望した理由は、日頃常に感じている経済面での不安を解消し、勉学により真剣に取り組みたいと考えたためです。私の家庭は住宅ローンや、私と弟の教育費などにより以前から家計に余裕がない状態でした。これに加え、母親が昨年失業してしまいました。母親は飲食店を相手にする小売業を営む会社で働いていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による業績悪化を受け会社が日本から撤退してしまったのです。学費は両親が結婚時から私や弟の将来のために貯蓄してくれていたお金から捻出していますが、私も弟も共に大学の理系学部に通っており、大学院への進学を希望していることを踏まえると、今後も学費を払い続けることができるのか非常に不安でした。

両親に負担をかけないよう、これまで可能な限りアルバイトをしてきました。しかし、3年次に授業や実験、課題が大幅に増えたことにより、アルバイトと学業の両立が非常に難しくなり、勉強に十分な時間が取れないことに苦慮しておりました。今後は、おかげさまでアルバイトの時間を減らして勉強に必要な時間を確保し、集中して取り組むことができます。

私は将来、地球の環境汚染問題に取り組み、汚染による被害に苦しむ一人でも多くの人を救いたいと考えています。この夢を実現するため、在学中は主に有害物質の発生を抑える工業プロセスのデザインと、化学物質の検出・分析の二つを軸に学びたいと考えています。目標達成のため、春学期には環境をテーマにグループプレゼンテーションを行う「環境化学」、化学製品を作るプラントの設計や技術を学ぶ「化学工学」の授業を履修し、精一杯取り組んでいます。その他の科目についても、基礎的な知識や実験操作、科学的な思考力を身に付けることを目標に、日々励んでいます。物質の存在状態や色の違いといったマクロな現象を、分子の形や特性といったミクロな視点から説明できるという点で化学は非常に面白く、夢中で知識を吸収している毎日です。来年度より始まる本格的な研究活動に向け、今年度はその土台となる基礎をしっかりと身に付けられるよう、今後も日々研鑽を積んでまいります。

皆様のご支援のおかげで恵まれた環境で学業に集中できることへの感謝を忘れず、このチャンスを活かして最大限有意義な大学生活を送れるよう、より一層の努力を重ねてまいります。そしていずれは自らも慶應義塾に貢献できるような立派な人間になりたいと考えています。

この度、奨学金に採用していただきましたことに重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

敬具

慶應義塾大学理工学部応用化学科3年

一九九六年三田会記念大学奨学金 御中

拝啓 この度は一九九六年三田会記念大学奨学金奨学生として採用していただき、ありがとうございます。中学生のときに少女国連大使として国連を訪れて以降、FAOやOIEといった国際機関で働いて世界的な問題に取り組みたいと考えています。児童労働や森林伐採、紛争といった国際問題は食糧が根底にあると考え、肥料開発などに取り組み不毛地帯の改善やその発生の防止を行い、加えて家畜の疫病の発生源を研究し、安定した食糧供給に携わりたいと考えています。現在は特に有機化学を学習し、また週二回の実験から研究者としての技術獲得に励んでいます。加えて、英語はもうろんフランス語の授業も続けています。そして、コミュニケーション能力向上のため、慶應国際センターのプログラムに参加し、また、OFFというフランス留学生との交流団体を運営し、慶應の特色を生かして学習しています。

見聞が広がる良い機会が多くありますが、実験レポートや難易度の上だった専門科目のため、学校の授業や様々なプログラムへの参加で手一杯となりました。

それらに集中するとアルバイトが週一回となり、加えて両親は住居費など多額を負担しているので仕送りは断っています。したがって、生活費が賄えず、貯金を崩し、何かを妥協してアルバイトをする生活でした。しかし、貴奨学金を頂くことで、学費の支払いが容易になり、生活費に余裕が生まれました。親子ともども感謝しています。新学期は引き続き学業に励み、まずは四年生でより良い研究を行えるよう知識を蓄えたいと考えています。

本当に、貴奨学金に採用して頂き、ありがとうございます。

敬具

二〇二二年七月十三日

理工学部応用化学科三年

# お礼状

慶應義塾大学 総合政策学部 総合政策学科 2年

1996年三田会の皆様

お世話になっております。慶應義塾大学総合政策学部2年、  
と申します。この度は、1996年三田会記念大学奨学金の奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。

今回、年額50万円という大きな金額を給付いただけるという点、慶應独自の奨学金であり尊敬する先輩方からの支援をいただける点で、1996年三田会記念大学奨学金を志望させていただきました。私を奨学生として選んでいただいたことを非常に光栄に思います。ありがとうございます。

近況といたしましては、大学の講義や研究会を初め学業に励むとともに、課外活動でベンチャーキャピタルでのインターンに励んでおります。キャピタリストとして、ジュニアアソシエイトという1つ上の役職に上がりまして、これまでよりも一層投資に関わる業務を担当させていただいています。

現在はWeb3領域に注力し、情報のキャッチアップと、有望な新規投資先の発掘に従事しております。私と同世代の若手が多い領域でして、そういった仲間たちと共に新しい産業を作るべく励んでおります。

今後といたしましては、引き続きベンチャーキャピタルでのインターンを続け、そのために必要な力を実務と学業などの理論、知識の両輪で身につけていきたいと考えております。

改めまして、この度は私を奨学生として選んでいただき、ありがとうございます。奨学生として相応しい活動をし、結果を残して参ります。

# お礼状

1996年3月5日 全教大 慶應義塾大学 奨学金 様

拝啓

この度は、修治の為に、お金の乏した条件金をお賜り下さり、心から御礼を申し上げます。  
父の莫大の犠牲と母の無職生活のため、消費の支拂いも困難になり、修治を続けるのが状況に直向したところ、貴財団の支援をいただき、無事には卒業を続けることが出来ました。現職は、司法書士資格試験を終え、その結果を待つにまいりましたが、試験合格発表が行われているため、このたびは、シブシブに集まりたいと思います。

進んで参りたいと思っております。  
卒業後、貴会の今後二層の発展を祈り申し上げます。略儀ながら、御礼の辞とさせていただきます。

敬具

令和四年七月十五日

慶應義塾大学 経済学部 三井



1996年三田会の皆様

拝啓

義塾の経済学部のと申します。

この度は、奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

私が奨学金を志望した理由は以下の通りです。

父は2020年12月に一身上の都合で会社を早期退職し、森林学校に通い始めたため収入がなくなりました。加えて母はスポーツインストラクターをしているのですが、新型コロナウイルスの影響により多くのイベントが中止されたため、収入が激減しました。これらのことから勉学を継続するため奨学金を志望させていただきました。

私自身、体育会陸上部に所属しており、学業、部活動、アルバイトの3つを成り立たせることが困難だったため、奨学金のご支援があり、今では学業、部活ともに集中して取り組んでおります。

部活動では、昨年9月に100メートルハードルで全国大会に、今年の5月には七種競技で関東大会出場を果たすことができました。現在は9月に行われる全国大会に向けて練習に励んでいます。

また就職活動も開始し、インターンシップに向けて様々な業界の勉強をしております。

今後もしもご支援をいただきましたことに恥じぬよう、卒業まで全力で学生生活を送り、さらには就職後も社会の役に立つ人材となれるよう努力致します。最後になりましたが、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

敬具

令和4年7月12日

慶應義塾大学 経済学部

2022年7月16日

1996年三田会の皆さま

法学部 法律学科 3年

## 奨学生採用の御礼

この度は1996年三田会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。1996年は母の卒業年ということもあり、御縁を感じており、選出していただけて大変嬉しく思っております。

私の父は、あまり子供の教育にお金を使うことを快しとせず、「女に大学教育は要るのか」、「教育費は母の浪費に過ぎない」などと発言するなど、私の大学進学について協力的な方でなく、学費の納入、そしてその他の生活費の支援の拒否とともに家を出ました。母が貯金を崩すなどして弟と私に教育を受け続けさせてくれており、私自身もアルバイトをするなどしておりますが、やはり経済的に厳しく、慶應義塾でこのまま教育を受け続けることは著しく困難でありました。100年以上前から女性の社会進出をすすめてられていらっしゃいました福澤先生の御遺志を継がれた三田会の皆様方にご支援いただけること、心より誇りに思います。

現在私は司法試験の勉強と並行して、就職活動も並行して行っております。また、所属している民事訴訟法のゼミが出場する15大学合同ゼミの準備にも勤しんでおります。どうしてもアルバイトに割ける時間が減ってしまう中、こうしてご支援いただけたこと、心より感謝申し上げます。

コロナ禍も下火になり、本来の学生生活を取り戻しつつある中で、有意義な大学生生活を悔いなく最後まで過ごすことを目標に、鋭意励んで参ります。

1996年三田会の皆様

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、奨学金をお寄せいただき、心より御礼を申し上げます。

私は親に学費を払ってもらっております。しかし、コロナ禍の影響で、父が従事しておりました宿泊業の会社の業績が急激に悪化し、現在でも回復の見込みが立っておりません。父は会社の意向で転勤となったのですが、収入が大幅に減少してしまい、私は学業を続けられない状況になりました。このような状況の中、1996年三田会の皆様のおかげで学業を続けられることとなり、大変嬉しく思っております。

私は現在、コーポレート・ファイナンスのゼミに所属しており、企業がどのようなようにすれば最適な資金調達ができるか、親子上場がそれぞれの企業にどのような影響を与えるのかといったことを研究しております。卒業論文では、上場企業の利益還元政策に焦点を当て、配当金の還元の仕方によって、企業の特徴がどう異なるかを主題に研究を進めております。

末筆ではございますが、このたびのご厚情に対しまして、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

令和四年七月十四日

慶應義塾大学 商学部 商学科 四年

## 1996年三田会の皆様

### 経済学部4年

この度は1996年三田会記念大学奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私が今回この奨学金に応募した理由は、これからの大学生活において学術的により充実した生活を送るために経済的な援助が必要であったからです。現在の大学での学費の負担は両親からだけでなく、祖父母からの援助にも依存している状況です。大学入学当初はそうした負担を減らすために、大学の学業とサークル等の課外活動の他にアルバイトを行っていたのですが、時間的制約や体力的な面でアルバイトに多くの時間を割くと学業に支障が出てしまうこともありました。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自身のアルバイト収入が大幅に減少したことに加えて、家計の経済状況の悪化にも見舞われ、学費の工面に苦勞しました。今回奨学生として採用されたことで、学業を継続する経済的な心配が軽減されるとともに自分自身に使える時間が増えることで、これまで以上に学びに専念でき大変感謝しています。

現在私が殊に力を入れて取り組んでいることは英語の学習と経済学の研究です。将来世界中で仕事をして活躍したいと思っているので、英語が母語の人もそうでない人とも積極的なコミュニケーションが取れる高いレベルを目標にして学習に励んでいます。具体的に日吉では、選抜式の最上級のクラスを履修し、意識的に高いレベルに挑戦することで語学力の向上と知識の習得を行ってきました。三田では、経済学部の選抜プログラムであるPCPに所属し、日々の英語での議論や学びを通して英語力の維持向上と経済の専門知識の習得に励んでいます。

昨年度から所属している坂井ゼミでは、大学生活の集大成としてマッチング理論に関する卒業論文の執筆を行なっています。具体的には、日本の高等学校における指定校推薦の学内選考の問題点および、その解決策について研究しています。私の母校が現在用いているアルゴリズムでは、各学生が他の学生の行動を読み合い、それぞれが正直に希望を申告することができない状況にあります。そのような問題を、理論的な側面から考察する予定です。

今年度は多くの授業が対面で行われ、二年ぶりに多くの新たな友人ができ、社会的な生活も戻り始めた兆しを感じています。また、今年5月に二年ぶりに行われた経済学部ゼミ対抗ソフトボール大会に坂井ゼミで参加したことは、三田生活のとても楽しい思い出になると思います。大学生活も残すところあと半年ですが、学業と社会的活動の両面で今まで以上に密度の濃い時間が過ごせればと思っています。

大学卒業後には、経済学研究科修士課程に進学を希望しているので、学業を継続する喜びをかみしめつつ誠心誠意学び続けたいと思っています。大学院修了後は、慶應で学んだことを日本社会だけでなく、世界で活用していくことで世の中に還元したいと思っています。

## お礼状

一九九六年三田会の皆様

この度は、一九九六年三田会記念大学奨学金に採用していただいたことに、心から御礼申し上げます。

一昨年に両親が離婚して、母子家庭となつてから、私の家庭の経済状況は苦しいものとなりました。私立大学に一人暮らしをさせて通わせてもらっているのもあつて、バイトの収入で暮らすことだけで精一杯でした。そんな中、公認会計士になつて影響力を持つ人間となり、会計士の界限を盛り上げたり、慶應義塾大学の魅力について発信したりしたいという夢ができました。色々と調べたり、先輩の話を聞いたりしていくうちに、予備校に通わないとほぼ合格は不可能だということを知りました。親に頭を下げ、借金をするという形で予備校に入学しました。そんな中で一九九六年三田会記念大学奨学金に採用させて頂きました。母親は本当に喜んでいました。「あんたが頑張つた結果なのだから、あんたの好きなように使つていいよ」と言つてくれましたが、頂いた奨学金は会計士の予備校代に全額使わせていただきます。本当にありがとうございます。

地方出身ということもあり、入学前は友達ができるか、慶應という大学で浮かないか、などの不安部分はいくつもありました。現在はサークルに複数所属し、バイト先やクラスでも友人に恵まれ、大学生活をとて楽しんでいきます。会計士の予備校では、先輩に可愛がっていただいております、よくランチに連れて行つてもらっています。

そんな中で唯一の懸念でもあつたのが金銭面です。二年生になつてから、初めて給付型奨学金というものを知りました。貸与型奨学金のように、就職してから返す義務のあるイメージしかなかった奨学金制度ですが、困窮している者を支援するというこのシステムがあること自体に、感動すら覚えた記憶があります。調べてみると、多数の給付型奨学金の募集要項があり、その数に驚きました。この制度というのは三田会様が、勉学に励む意欲はあるが生活が困窮している者に、返済義務無しでお金を渡すものです。採用者として選ばれたからには、義塾の学生の模範生を目指し、より一層勉学に励んでいきたいと思ひます。

最初の方にも書きましたが、会計士になるだけではなく、影響力のある発信者となることが私の夢です。その夢を叶えた暁には、給付型奨学金を三田会様から頂いた経験も発信し、慶應の魅力を伝え、義塾の発展に貢献していきたいと思ひています。貴重な経験となりました。この度は本当にありがとうございます。

## 1996年三田会の皆様

この度は、1996年三田会記念奨学金の奨学生として採択していただき、誠にありがとうございます。父の定年退職後の再雇用によって、所得が定年退職前の三分の一程度まで減少し、パートしての母の所得も少ない状況にあり、一人暮らしを行いながら理工学部の学費を支払うことはとても経済的に負担の大きいことでありました。大学院への進学や留学を前向きに検討している自分にとって、この度1996年三田会記念奨学金の奨学生としての採択していただいたことで、学費の負担を大きく減らすことが出来るため、今まで以上に勉学に集中して取り組み、自分の目標に近づくことが出来ることに、私を含め家族一同感謝の気持ちで一杯です。

大学入学当初からコロナウイルスの感染拡大によって、授業や課外活動など多くの面で制限がかけられていた生活から、ワクチン接種の普及や自粛の恩恵により、授業は対面授業が中心となり、グループワークや課外活動などの集団行動への制限が徐々に緩和されつつあります。オンライン授業と違い、教授から直接学びを受けることが出来る感覚を強く得られるため、学科専門科目などの非常に難しい科目の勉強にもより身が入るようになりました。今まであまり利用してこなかった松下記念図書館を上手く活用しながら勉学に励んでいます。

現在私は、学科専門科目の中でも機械力学・熱力学・流体力学・材料力学の四力学を中心に学習しており、他にも数値解析手法を学ぶ計算力学に関する授業を履修し、今後は制御プログラミングについても学習したいと考えています。来年所属する研究室配属について、いくつか研究室の候補を考えており、特に機械工学の中でも微細加工技術を用いた生物や人体に関わる分野の研究室への配属を希望しています。生物に特有の組織や特徴を持った構造を機械的に作り出すという研究に、研究分野としての応用性の高さから広い可能性を感じ興味を抱いています。研究室見学を順次させていただきたいと考えており、実際に研究がどのような段階で行われているのか、どういった意識をもって専門科目の学習を行えばよいのか、そして研究室の教授と学生の距離感や雰囲気を感じたいと考えています。

1996年三田会記念奨学金の奨学生としての自覚を持ち、皆様からの温かいご支援に感謝しながら今後さらに身を引き締めて勉学や課外活動に励み、卒業後には慶應義塾大学の更なる発展のために自分も可能な限り助力するために、残りの学生生活をより有益なものにするよう努力してまいります。

改めまして、この度は1996年三田会記念奨学生として採択していただき本当にありがとうございます。

1996年三田会の皆様

拝啓

慶應義塾大学薬学部薬学科3年の と申します。このたびは、奨学金のご支援をいただけることになりまして、心より感謝いたします。

父を亡くしてから家計が急変し、学業の継続や日々の生活が苦しくなってきた中、奨学金のおかげで学業を継続できることに大変嬉しく思います。

将来は、薬剤師になってがんの治療に携わりたいと考えています。国民病と言われるがんの治療が高度化していることを学び、非常に興味を持ちました。がんで家族を亡くした者の一人として、がん治療に携わり、人の健康を責任を持って守りたいと思っています。この夢を叶えるためには、今この瞬間を一生懸命目の前の勉強に力を注ぐことが大切だと肝に銘じ、地道に授業の予復習や自主学習を続けております。

本年度は、こうした薬学部の勉強に加えて、TOEICに挑戦する予定です。最近毎日英文を読み、音読しています。はじめは大学受験とは違った点数の取り方に戸惑いを感じていましたが、毎日勉強を積み重ねることで徐々に点数が伸びてきました。英語力を身に付け、たくさんの論文を読みたいと思っております。

このご支援に恥じぬよう、学生生活を誠実に丁寧に送ってまいりたいと考えております。このたびのご支援、本当にありがとうございます。再度感謝申し上げます。

敬具

令和4年7月吉日

慶應義塾大学 薬学部薬学科3年

1996年三田会の皆様

この度は奨学金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。頂きました奨学金は全額、学費に充当させていただきます。

私の家庭は父親の収入は決して高くはない一般家庭であり、また、私が長男の三人兄弟であるため経済的には全く裕福ではありません。しかし、両親は私の将来を考え、慶應義塾大学医学部へ経済的に苦しい中でも学費を捻出してくれています。これから、第二人の成長に伴い、学費がさらにかかってくることを考えると経済的に一層厳しくなります。このような状況の中で1996年三田会の皆様から奨学生として選んでいただいたことは、両親への負担を軽減していただけるとともに、弟たちの今後の進路への不安も取り除いていただき非常に感謝しています。私自身も両親や弟たちへの経済的な負い目が軽減されて、ますます勉学に集中して取り組みます。

現在、私は医学部3年であり、いよいよ医学の勉強も本格化してまいりました。病態について学んでおり日々の勉強は大変ですが、より専門的な医学知識に触れる中で医師になるということを実感しております。今までかかったことある病気や聞いたことのある病気の勉強は自身の経験と知識とが重なり非常に興味深く大変な中でも医学を学ぶことの楽しさも感じております。そして、三年次の一つの大きな課程として研究室配属が8月まであり、私は精神神経科に所属しておりました。うつ病治療の新たな治療法として近年注目されている経頭磁気刺激（TMS）の研究に携わらせていただき、臨床では治すことのできない患者さんを治すための新たな治療方法の研究に直に触れることができました。慶應義塾大学では、日本で最先端の磁気刺激装置を取り入れており、臨床と研究の橋渡しに力を入れる慶応ならではの研究を通して、研究の重要性和面白さを学び、日々の勉強へのモチベーションがまた一段と上がりました。設備だけでなく、志高く優秀な仲間がいるという最高の環境のもとでの学べることに感謝して、それを最大限に活かしていきたいと思っております。

最後になりますが奨学生に選んでいただいたこと重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。奨学金を頂き、私自身の中学時代の恩師からかつて言われた「人は死んでしまえば財も記憶もなくなってしまうのだから何を得たかはそれほど重要ではなく、死んだ後でも残るもの、つまり、周りに何を与え、何を残したかが重要であり、その人の真価を決めるものとなる。」という言葉が改めて思い出しました。まだ、私自身、一人前にはほど遠く、今回のように奨学金を頂くなど、周りの人から支えられてばかりですが、将来、周りにさらには社会の役に立つことで、今まで自分がもらった以上のものを返して、遺せる者になれるように精進していきたいと思っております。

2022年7月16日

慶應義塾大学医学部医学科3年